

6 本時の学習指導（7 / 7 時）

（1）目標

寝室の危険を発見し、地震に備える方法が分かる。〈関心・意欲・態度〉〈知識・理解〉

安全な住まい方を考え、自分の生活と結び付けて工夫している。〈工夫・創造〉

（2）展開

生徒の活動	時間	教師の働きかけ	評価	小中高の系統
○前時の復習をする。 ○前時に描いた寝室の間取り図を見る。  ○本時の学習課題を知る。	6分	○家庭内事故の種類と原因、安全対策について思い出させる。 ○寝室の間取りの確認をする。		小学校 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(6)住まい方に 関心をもって、 身の回りを快 適に整えるこ とができるよ うにする。 ア 整理・整頓 や清掃や工夫 ができる。</div>
学習課題		地震時の安全対策を考えよう。		
○大きな地震がきたときに危険な箇所を青で囲み、発表する。 ○VTR1を視聴する。 ・危険な箇所を書き加える。	5分  7分	○自分が毎日寝ている部屋の危険を見付け、個々の課題を発見する。  ○何がどうなって危ないのか、危険の大きさを印象付ける。 ・ドアが開かなくなる。 ・大きな家具が倒れる。 ・ピアノが倒れる。 ・家具の配置によって危険度が違うことを知らせる。 ・危険の度合いを知らせることで危険回避への意識を高めさせる。	※関：寝室の危険箇所を意欲的に発見しようとしている。 (ワークシート、観察)	中学校 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(4)イ 安全で快適な室内の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができる。</div>
○自分の部屋の安全対策を考える。	5分	○周囲と話し合っ、他の方法についても情報を集める。 ・転倒防止器具 ・L字金具 ・突っ張り棒等、実物掲示		高等学校 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">家庭総合(4)ウ 住生活の科学と文化 住居の機能、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解させるとともに、住生活の文化に関心をもたせ必要な技術を習得して充実した住生活を営むことができる。</div>
○VTR2を視聴する。 ○身近な家具の固定器具も使い方によっては効果がない	7分 3分 7分	○家具の固定器具の正しい使い方を提示する。  ○4. 5人の小グループで、	※知：地震に対す	

<p>ことを知り正しい使い方、中学生でもできる防災対策を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所に、吹き出しで防災対策を書き込む。</li> <li>・私の防災対策を発表する。</li> </ul> <p>○自己評価を記入する。</p>	<p>8分</p> <p>2分</p>	<p>それぞれの安全対策を発表し合い、改善策をまとめ赤で書き入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各グループから1名代表者を決め、話し合いの内容を発表させる。</li> <li>○デジカメをモニターにつなげ一緒に視ることで、個々の工夫を共有させる。</li> <li>○日頃からの備えによって避けられる危険もたくさんあることを理解させる。</li> </ul>	<p>る安全対策の方法を理解している。</p> <p>(ワークシート、発表)</p> <p>※工：安全な住まい方を考え、自分の生活と結び付けて考えることができる。</p> <p>(ワークシート発表)</p>	
--	---------------------	--	---	--